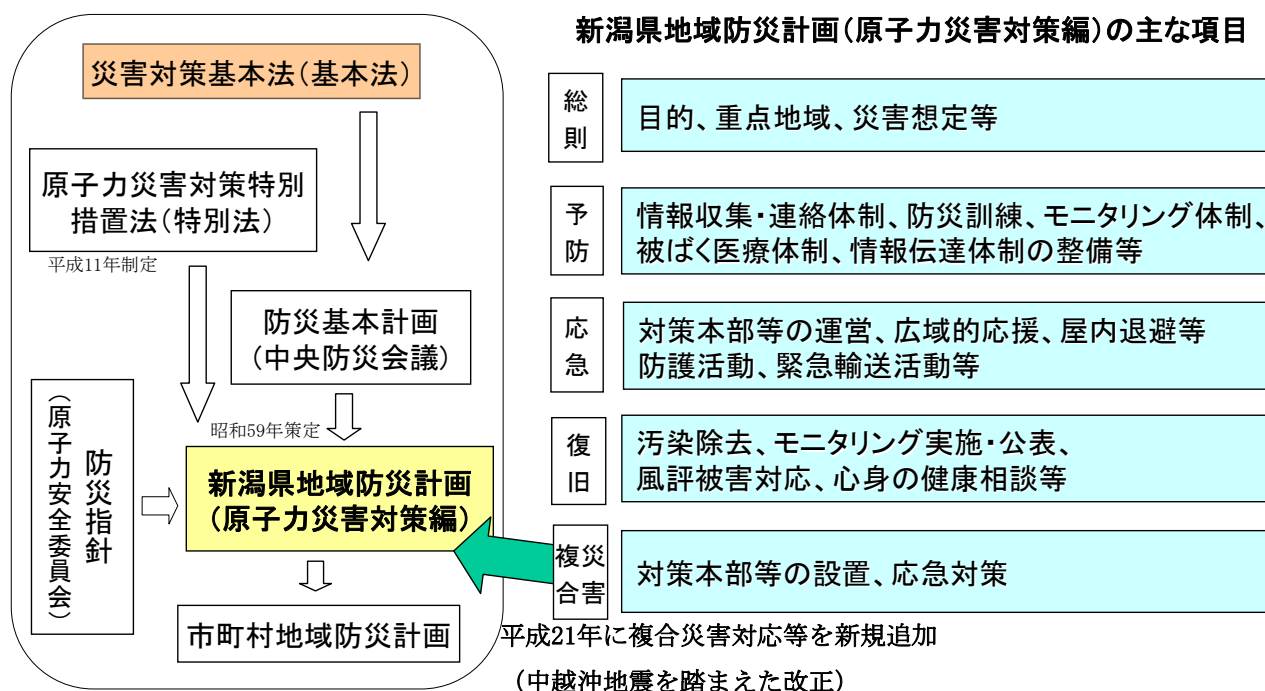


# 新潟県地域防災計画 (原子力災害対策編) の見直しについて

平成23年9月20日

## 新潟県

### 現行の新潟県原子力防災計画の概要

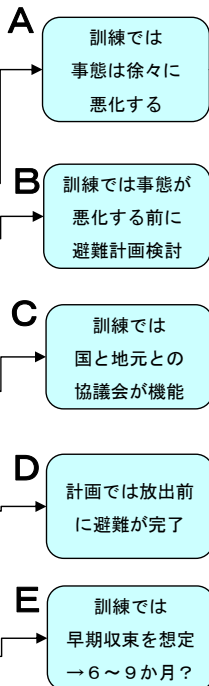


# 「時間」における乖離 ～ 事態の悪化が早く、その後は長期化

事故の検証がされていないので、各機関の公表資料や報道などをもとに参考資料として編集したものです。

【平成22年11月新潟県防災訓練の想定】

- 0:00 ①トラブル発生
- 0:10 ②手動停止。事故通報
- 0:25 ③国：事故対策本部設置
- 2:00 ④安全装置作動失敗（10条通報）
- ⑤放出予測、避難計画検討開始
- 4:30 ⑥放出の可能性高まる（15条通報）
- 5:00 ⑦原子力緊急事態宣言
- 5:10 ⑧原子力災害合同対策協議会
- ⑨放出予測、避難計画確認
- 6:00 ⑩避難、屋内退避指示
- 6:30 ⑪住民避難開始
- 20:00 ⑫格納容器圧力超過→ベント
- 22:00 ⑬放射性物質の放出停止
- 23:00 ⑭緊急事態宣言解除



【平成23年3月福島原発事故の実態】

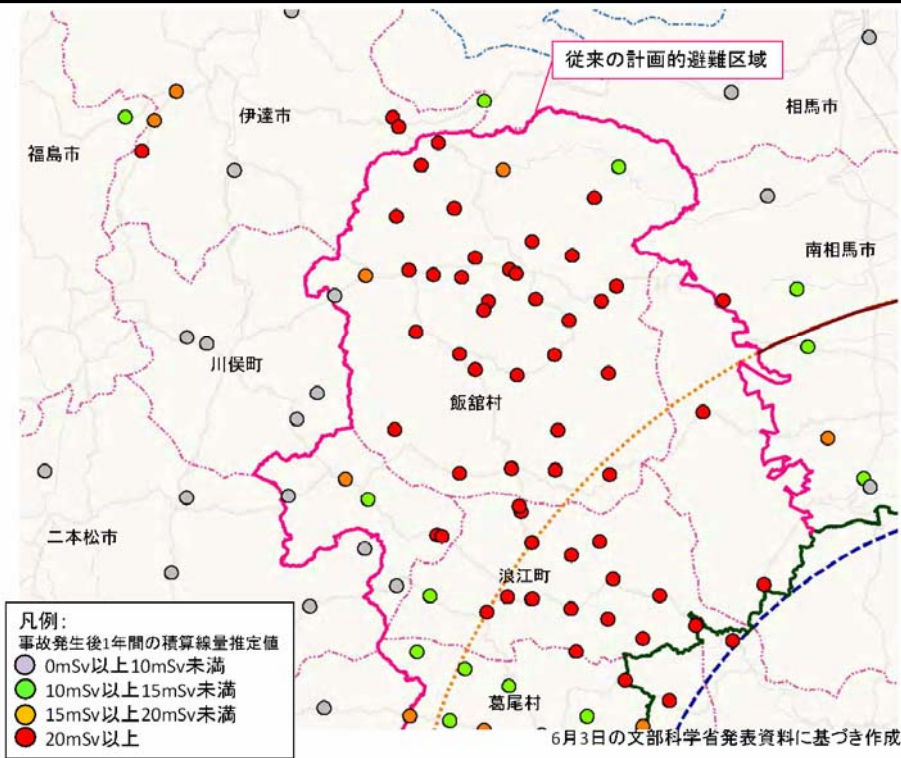
- 14:46 (0:00) 地震発生
- 14:46 (0:00) ①原子炉自動停止
- 15:35 (0:49) 津波第2波
- 15:42 (0:56) ④全交流電源喪失(10条通報)
- 16:45 (1:59) ⑥非常用冷却装置注水不能(15条通報)
- 19:03 (4:17) ⑦原子力緊急事態宣言
- 20:50 (6:04) ⑩福島県、2キロ圏に避難指示
- 21:23 (6:37) 国、3キロ圏に避難指示
- 12日5:44 (14:58) 国、10キロ圏に避難指示
- 10:17 (19:41) ⑫1号機ベント開始
- 15:36 (24:50) 1号機で水素爆発
- 18:25 (23:39) 国、20キロ圏に避難指示
- 15日(4日後) 国、20～30キロ圏に屋内退避
- 15日(4日後) オフサイトセンターに退避命令
- 25日(2週間後) 国、20～30キロ圏の自主避難
- 4月17日：東電、安定まで6～9か月の計画発表
- 4月22日：警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域の設定

## 福島第一原子力発電所の事故に係る避難区域の状況

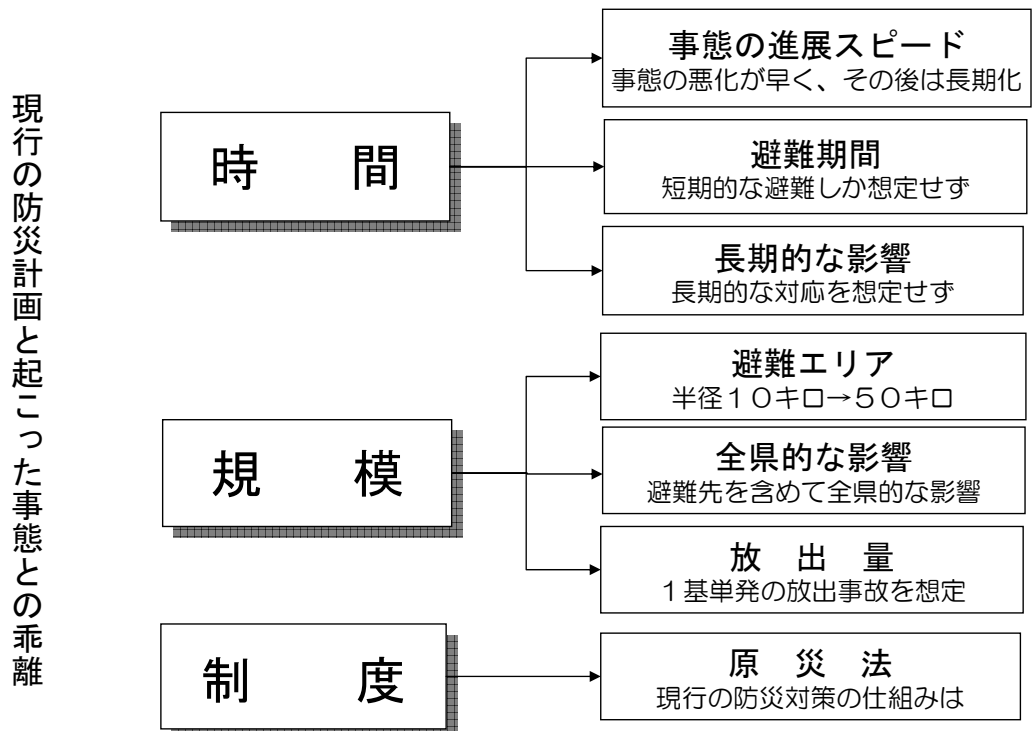


※ 半径20km圏は警戒区域  
 計画的避難区域  
 緊急時避難準備区域

# 福島第一原子力発電所の事故に係る特定避難勧奨地点の状況



# 現行の防災計画と福島第一原子力発電所事故との対照



# 原子力災害から県民を守るために

## 現状の認識

- 1 安全対策の強化が求められる。
- 2 原子力防災に対応の見直しを進めるには、種々の課題についての国等による検証が必要

## 今、必要な対応

- 1 安全対策の強化は当然だが、万一に備えなければならない。
- 2 事態の検証は必要だが、できるところから見直しを進める。
- 3 今回の福島のような過酷事故が起こりうることを想定して、これからの防災対策を考える必要がある。

## 原子力防災計画の見直し

- EPZの拡大を視野に入れ、順次、見直せるところから、原子力防災計画の暫定見直しを進める

# 原子力防災部会の開催状況

## 第1回 原子力防災部会

- 開催日時 平成23年4月19日
- 議論の要点  
広域避難や長期避難への対応について、  
見直せるところから見直しを進める

## 第2回 原子力防災部会

- 開催日時 平成23年6月27日
- 議論の要点  
福島第一発電所の事故における避難の実態等を踏まえ、  
発電所から半径50km圏の市町村を目安に勉強会を開催する

## 勉強会の開催概要 ①

### 【第1回】 7月12日(火) 柏崎市

- ① 放射能の基礎知識 (原子力安全対策課)
- ② 新潟県における安全対策 (原子力安全対策課)
- ③ 原子力発電所の仕組みと柏崎刈羽原子力発電所における原子力防災の取組  
(東京電力)
- ④ 柏崎刈羽原子力防災センターの視察  
(オフサイトセンター・放射線監視センター)

### 【第2回】 7月27日(水) 上越市

- ① 柏崎刈羽原子力発電所における安全対策 (東京電力)
- ② 防護対策の課題 (原子力安全対策課)
- ③ 安全協定の概要 (原子力安全対策課)
- ④ 技術委員会・原子力安全委員会等の最近の動き (原子力安全対策課)

## 勉強会の開催概要 ②

### 【第3回】 8月24日(水) 三条市

- ① EPZ、避難、屋内退避の考え方 ((株)三菱総合研究所)
- ② 柏崎刈羽原子力発電所に係る避難シミュレーション  
(独)原子力安全基盤機構)
- ③ 技術委員会・原子力安全委員会等の最近の動き (原子力安全対策課)

### 【第4回】 9月5日(月) 長岡市

- ① 安定ヨウ素剤の取扱い及び避難者のスクリーニング  
(独)日本原子力研究開発機構)
- ② モニタリング (原子力安全対策課)
- ③ 避難者・屋内退避者の支援 (原子力安全対策課)
- ④ 技術委員会・原子力安全委員会等の最近の動き (原子力安全対策課)

## 原子力防災指針の見直しに関する国の動き

### ○ 原子力安全委員会 原子力施設等防災専門部会 防災指針検討ワーキンググループの開催

※ 原子力防災指針の見直しについて検討

- ・ 年度内に中間報告を取りまとめ
- ・ 10月を目処に、EPZの見直しに向けた考え方をとりまとめ

### ○ EPZに関する考え方の骨子(案)

- 1 国際基準の動向について
  - ・ IAEA等による考え方等について記載
- 2 東京電力福島第一、第二発電所の事故から得られた教訓等について
- 3 脅威の評価、事故時放出量の想定、防護措置戦略スキーム等について
- 4 防災対策を重点的に準備すべき地域の範囲について
  - ・ 当面の間のEPZ、PAZのめやす

## 検討が必要な防護対策の課題

① 情報伝達・避難指示

② 避難施設等の確保・調整

③ 避難体制の整備

④ スクリーニング体制の整備

⑤ モニタリング体制の整備

⑥ 食料・物資の備蓄

⑦ 避難・屋内退避者の生活支援

⑧ 災害時要援護者の支援